

千葉大学情報・データサイエンス学部 学位授与の方針

千葉大学情報・データサイエンス学部は、「つねに、より高きものをめざして」の大学の理念のもと、以下を修得した学生に対して、学位を授与する。

「自由・自立の精神」

- 情報・データサイエンスに関する高度な知識を備え、自己の目標を設定し、その実現において新しい知識や能力の継続的な獲得に努め、高い倫理観をもって常に自己の評価検証を意識する姿勢を身に付けている。

「地球規模的な視点からの社会とのかかわりあい」

- 情報・データサイエンスと社会や文化との関わりを理解し、情報・データサイエンスの知識を総合して、地球規模的な視点や地域の視点から持続可能でインクルーシブな社会の発展と課題解決に寄与できる。
- 自己の国際経験を生かし、広い視野から社会に貢献することができる。

「普遍的な教養」

- 多様な文化や価値観に関する深い理解や文理横断的・異分野融合的な知を備え、主体的な認識と判断力のもと、情報・データサイエンスの先端技術の創生や社会応用において、それらを活かす姿勢を身に付けている。

「専門的な知識・技術・技能」

- 数学（確率論、統計学）や機械学習等の知識を活用してデータを分析し、データに潜む構造、法則、関連性等を明らかにする能力（データサイエンス力）、プログラミングスキルや情報工学技術を駆使してデータサイエンスを実現する能力（データエンジニアリング力）、データサイエンススキルを活用して、様々な社会課題の解決や新しいビジネスの展開につなげる能力（データサイエンス展開力）を統合的に修得する。

「高い問題解決能力」

- 外国人を含む他者と強調・協働し、さらに知的財産権や倫理に配慮しつつ獲得した知識・技能・態度等を総合的に活用し、問題解決に取り組み、解決の方向性を提案することができる。